

平成 18 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 千代田化工建設株式会社
代表者名 取締役社長 関 誠夫
(コード番号 6366 東証第一部)
問合せ先 主計部長 楠 真治
(TEL 045-506-9410)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 15 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 平成19年3月期中間個別業績予想数値の修正 (平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	160,000	10,500	6,500
今 回 修 正 予 想 (B)	177,000	14,500	10,000
増 減 額 (B - A)	17,000	4,000	3,500
増 減 率 (%)	10.6	38.1	53.8
前 期 (平 成 18 年 3 月 期 中 間) 実 績	141,187	8,910	9,655

2. 平成19年3月期中間連結業績予想数値の修正 (平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	190,000	12,000	7,000
今 回 修 正 予 想 (B)	210,000	16,500	11,000
増 減 額 (B - A)	20,000	4,500	4,000
増 減 率 (%)	10.5	37.5	57.1
前 期 (平 成 18 年 3 月 期 中 間) 実 績	165,515	9,029	10,622

3. 修正の理由

売上高につきましては、中間期の為替レートが1 US \$ = 117.90円と、期首予想の1 US \$ = 110円より円安になったことや工事進捗が予想に比べて前倒しとなったことなどを背景に、また、経常利益および中間純利益につきましては、売上高の増加による営業利益の増加や、JV持分資産の増加に伴う受取利息の増加などによりそれぞれ増加する見込みです。

尚、ロシア情勢や現場工事従事者の逼迫など工事進捗への影響を勘案した結果、中間期時点での通期の業績予想に修正はありません。

4. 見通しに関する注意事項

この資料に記載されている業績見通しは、種々の前提に基づく将来の予想であり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

従いまして、これらの見通しのみにより判断をされることは控えるようお願い致します。

以 上